

第3学年国語科学習指導案

日 時：平成28年6月28日(火)第5校時

場 所：四万十市立具同小学校3年1組教室

児童数：3年1組 29名

授業者：四万十市立具同小学校 T1 村上 真紀

T2 山口 友利加

1. **単元名** ファンタジーのお話をみんなに紹介しよう
教材名 「ゆうすげ村の小さな旅館」(東京書籍3年上)

2. 単元について

本単元で扱う内容は、学習指導要領には以下のように位置付けられている。

第3学年及び第4学年「C 読むこと」

ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて叙述を基に想像して読むこと。

(1) 単元観

本教材は、基本的に時間の経過に沿って物語が展開しており、時を表す言葉に着目することで、場面をとらえることができる。また、人物の行動や会話に気持ちが表れており、人物の気持ちを想像することが容易である。さらに、この作品はファンタジー作品であり、物語の途中に終末につながっていく「しかけ」がいくつもあり、何度も読み返すことで、その表現や言葉遣いのおもしろさの工夫に気づくことができる。ファンタジーの世界のおもしろさを知り、想像力や読書の幅を広げることのできる教材である。

児童はこれまで、人物がしたことやその時の様子に気をつけて読む学習をしている。しかし、場面の移り変わりに注意しながら読むことや、人物の気持ちや性格を想像しながら読むことには至っていない。4月「すいせんのラップ」では、場面の様子を思い浮かべて音読することを学習し、読み方を工夫したグループ音読発表会を行った。自分の生活経験と重ねて気持ちを考えたり、擬声語・擬態語などについて友だちと意見の交流をしたりしながら発表会の準備をし、全員が声に出して読むことの楽しさを味わうことができた。それらをふまえて、本単元では、物語の「しかけ」を探しながら読む活動を設定したい。「しかけ」を探すためには、それぞれの場面の出来事に関連づけ、文章中の語や表現に着目して読む力が必要になる。本教材は、人物の行動や会話を手がかりに、場面の移り変わりとともに変化する人物の気持ちをとらえる力をつけることができる教材であると考えている。

(2) 児童観

本学級の児童は、読書好きな児童が多い。5月下旬に実施した国語アンケートの「読書は好きですか」の肯定的評価は96%と高かった。不思議な話が大好きな児童や少し長い物語を読み通す力がついている児童も多くなってきている。しかし、漠然としか物語を読むことのできない児童や、漢字の習得が不十分のため文章をすらすら読めなかったりして、読書の世界を楽しめていない児童もいるのが現状である。「読むこと」に関しては、授業での発表や市販テスト・プリントなどから大まかな学習内容は理解している児童が多い。しかし、「何となくそう思う」という思いつきの発表もあり、細部に気をつけて読み取ること、叙述を基に想像して読むことが苦手な児童もいる。

(3) 指導観

児童の実態を考慮し、第一次の単元の導入では、ファンタジーというジャンルについて興味を持たせるために、ゲストティーチャーとして図書担当教師に本の紹介をしてもらう。その後で、物語の範読を聞き、全体をつかませた後、最後の場面のつぼみさんのつぶやき「そういうことだったの」に注目させ、美月の不思議な言動は、実は、うさぎだったということに気づかせ、ファンタジーの世界のおもしろさを実感させたい。

第二次では、時を表す言葉を手がかりに場面分けをする。そして、行動や会話文、様子を表す言葉などを手がかりに思考の手助けとなるイメージマップを使い、人物像を考える。さらに、複数場面における登場人物の言動や情景の叙述を関連付けながら、「しかけ」を見つけさせたい。その際、場面と場面を関連づけながら読むことができるように文章全体を一覧できるようにし、不思議に思うところやそれを解き明かす根拠となる叙述を明確にしながら、読んだり交流したりすることができるようにする。そして、教材文で学習した読みを、次時に自分が選んだ本で活用しながら学習を進めていくようにしたい。

第三次では、自分が選んだファンタジーの本を他のグループの友だちに紹介をすることで、ファンタジー作品のしかけを見つけながら読む楽しさを感じさせたい。また、読書の幅が広がり、読書を楽しめる児童が増えることも願っている。

本時では、美月の行動や会話文などから人物像を考える。その際、思考の手立てとして、イメージマップを使い、叙述を基にしながら想像を広げられるようにする。個人思考後は、全員が意見を述べるができるグループで交流をする活動を入れる。叙述を基に自分の考えを発表するとともに、友だちの意見を聞くことで、自分の考えを広げたり、深めたり、整理したりできるものと思われる。その後、人物像について考えを見直す場の設定をし、さらに想像を広げたり考えを深めたりした後、全体で発表し合う。美月さんの人物像について、自分の考えていたことや友だちの考えから新たに想像したことなどを、イメージマップを活用しながら発表ができるように声かけをしていきたい。

3. 研究主題に関わって

本校の研究主題は、「自ら課題をつかみ 思考し 表現し合う授業づくり ～習得・活用・探究のつながり 指導過程・指導方法と発問を大切に～」である。第一次の図書担当教師による導入、単元構想図や一時間ごとのめあてを提示することで、指導過程が児童のものとして学習の見通しとなり、楽しみながら「課題をつかみ」学習することができるものと思われる。また、叙述を手がかりとして物語の場面や情景、登場人物の人柄や気持ちの変化などについて想像(「思考」)し、それを書いたり発表したりする発問や指導過程の構成を工夫することで、「表現しながら」読み取っていく学習を展開していきたい。第二次では、授業で学んだこと(「習得」)を、次時で自分の読みや表現に生かす(「活用」)活動を取り入れる。場面分けやしかけを探す活動では、2年生での学習「お手紙」(人物がしたことの順序を考える)や「名前を見てちょうだい」(場面を分ける)を「活用」しながら考えていきたい。行動や会話などを手がかりに人物の気持ちや人物像を読み取り、読み取ったことを交流することで、多様な見方ができることに気付いたり、新たな思考を生み出したりすることができ、物語を深く理解することにつながる。第三次では、自分が選んだ本をみんなに紹介する発表会を行う。発表を聞くことで、友だちの選んだ本や他のファンタジーの物語に興味を持ち、読んでみたい、しかけをさがしてみたいなど、楽しみながら読んでいく(探究)ことにつながるように単元を展開していきたいと考えている。

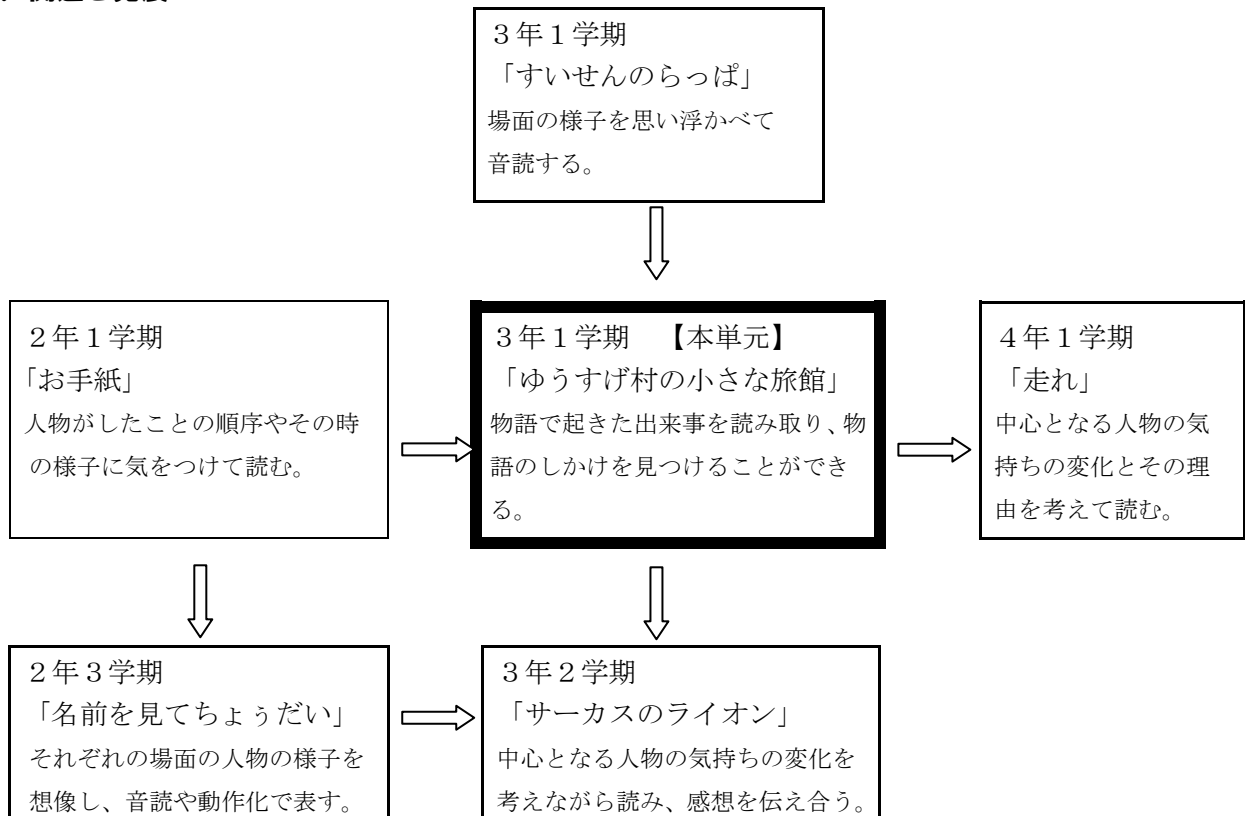
4. 単元目標

- ファンタジー作品のおもしろさを説明するために、場面の移り変わりに注意して、叙述と叙述を関連付けながら想像して読むことができる。

5. 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	・紹介したい本について説明するために、本を繰り返し読むなどして、改めて味わったり、新たなおもしろさに気付いたりしながら読もうとしている。
読む能力	・自分の選んだファンタジー作品のおもしろさを伝えるために、場面の移り変わりに注意しながら、場面と場面を関連づけ、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて叙述を基に想像して読み、不思議な出来事のしかけを説明している。C (1) ウ
言語についての 知識・理解・技能	・表現したり理解したりするために、必要な語句を増やしている。 伝国(1)イ(オ)

6. 関連と発展



7. 単元の計画(全11時間)

学習活動

児童の学習の流れ

単元の主な評価規準

<p>第1次 学習の見通しをつかもう。</p>		<p>2時間</p>	
<p>①物語の範読を聞き、ゴールイメージをもつ。 ②物語のしかけについて知り、学習課題を確かめる。</p>	<p>・しかけて何かなあ。 ・探したいなあ</p>	<p>・ファンタジー作品に関心を持ち、楽しんで読もうとしたり、自分がおもしろいと思ったお話について話そうとしたりしている。 【関心・意欲・態度】</p>	
<p>第2次 物語文「ゆうすげ村の小さな旅館」を学習し、紹介するときに役立てよう。</p>		<p>8時間</p>	<p>並</p>
<p>③時をあらわす言葉を 手がかりに場面分けをする ⑤つぼみさんと美月さんについてイメージマップを使って人物像を考える。【本時】 ⑥自分の選んだ本で場面分けをし、登場人物のイメージマップを使って人物像を考える。 ⑦⑧物語のしかけについて考える。</p>	<p>・時を表す言葉はどれかなあ。 ・つぼみさんはどんな人かなあ。 ・美月さんはどんな人かなあ。 ・しかけはどこに書いてあるかなあ</p>	<p>・段落に分けるために、必要な語句を増やしている。 【伝国(1)イ(オ)】 ・複数の叙述を関連付けて、登場人物の性格を捉えている。 【C(1)ウ】 ・場面と場面を関連付けて読みながら、不思議を解き明かす根拠となる叙述(しかけ)に着目して読んでいる。 【C(1)ウ】</p>	<p>行 読</p>
<p>第3次 ファンタジーの本をみんなに紹介しよう。</p>		<p>1時間</p>	<p>書</p>
<p>⑨⑩自分の選んだ本のしかけを見つけ、紹介する準備をする。 ⑪グループで発表会を行い、感想を交流し学習を振り返る。改めて読んでみたくなったお話を読む。</p>	<p>・早くみんなに紹介したいなあ。 ・ファンタジーの本はおもしろいなあ。</p>	<p>・自分が選んだお話や他の作品を改めて読み返そうとしている。【関心・意欲・態度】</p>	<p>↓</p>

【つきたい力】

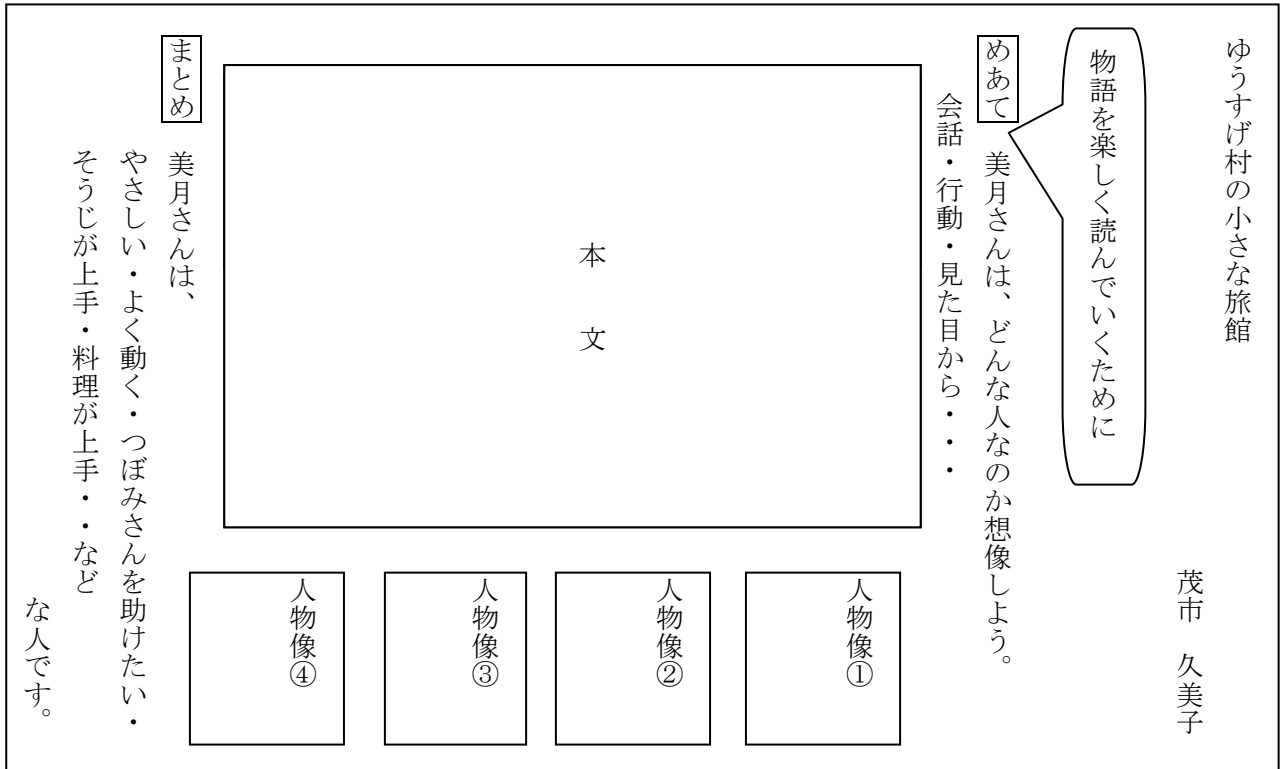
物語のしかけを探することで、場面と場面を関連つけて読み、人物や人物の気持ちの変化を想像して読む力

8. 本時の指導 (5 / 11)

- (1) 目標 ○複数の叙述を関連付けて、登場人物(美月)の性格を捉えることができる。
 (2) 準備物 物語全体の一枚紙、カード、ワークシート
 (3) 展開

	学習活動【主な発問(★)】	指導上の留意点(○)と評価(□)
つかむ 10分	1 前時までを振り返る。 2 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">美月さんはどんな人なのか想像しよう。</div>	○つぼみさんのイメージマップを見て、書き方の確認をする。
深め・広げる 25分	3 課題を解決する。 (1) 本文を黙読しながら、美月の気持ちや人柄が表れているところに線を引く。 ★美月さんについて分かるところはどこですか。「会話」「行動」「見た目」など、本文から探しましょう。(個人) (2) 美月さんはどんな人か想像する。 ★線を引いたところをイメージマップに書き出して、美月さんの気持ちや性格を想像しましょう。(個人) 4 グループでお互いの考えを伝え合う。 ・友だちの発表を自分の考えと比べながら聞く。(グループ) 5 美月さんの人物像を考えカードに書く。 ・友だちの考えも参考にしながら、美月さんはどんな人なのか想像する。(個人) 6 発表する。(全体)	○前時のつぼみさんと区別するために、赤で線を引かせる。 ○机間指導をしながら、全員が線を描くことができるように声かけをする。 ○人物像を読み取りやすくするために、線を引いた場所を短くまとめて、美月の周りに書き込ませるよう伝える。(T2) □読 複数の叙述を関連付けて、登場人物の性格を捉えている。(ワークシート、発言) ○同じところや違うところ、質問などを考えながら交流するように助言する。 ○友だちの考えを聞いて参考になったことや、自分の考えが深まったこと等も取り入れながらカードに書き込むように促す。(T2) ○イメージマップを見ながら、自分の考えを表記させる。
まとめ・つなげる 10分	7 本時の学習を振り返る。 8 次時の学習を確認する。	○自分で考えたり友だちの考えを聞いたりすることで、美月の人物像を想像することができたか自分の言葉でまとめるように助言する。

(4) 板書計画



【言語活動例】

